

## 平成 22 年度 PTA 研修を実施しました

本校は毎年 PTA 研修を、農場を活用して行っておりますが、今年度は能勢町教育イノベーションプロジェクト事業の一環として、町内の他の PTA にも参加を呼び掛けることとし、能勢高校プラン『いきいき・わくわく・のせこうファーム』のスタート事業と位置付けて、10月31日（日）の午前に実施いたしました。本校 PTA だけでなく、町内の4小学校の PTA からご参加をいただき、総勢 27 名でにぎやかに、美味しい研修になりました。

本校の間教諭が「木灰こんにゃく作り」、天野教諭が「堅牢藍染め」の講師を務め、両方の体験を 2 班に分かれて交互に行いましたが、どちらの体験も初めての私（教頭）には、とても興味深く面白いものでした。

こんにゃくがまるでサツマイモのお化けのようなイモから出来上がる様は驚きでした。出来上がったこんにゃくは灰汁抜きをしなくてもすぐにスタチや醤油などをつけ、刺身で美味しく食べられることはさらにビックリでした。このレシピを作るため、講師の間教諭は試行錯誤を繰り返しながら最適な木灰液の濃度を見つけたそうです。



藍染めは最初にハンカチを折るところが難しかったです（私には）。一生懸命過ぎて写真が撮れませんでした。結局私は上手に折ることができず PTA の委員さんに手伝って頂き、何とか折りあげてゴムで縛るところまで漕ぎつけました。ゴムで縛る場所をどこにするか何ヶ所にするか、また端をラップで包む処理を行うかどうかで、出来上がりの模様が決まります。もとより「こうなるはず」というイメージも湧かないままに、藍染め液をつくり、その中に縛ったハンカチを入れて藍染め液に浸し、水洗をおこない、最後に中和洗浄をすると、鮮やかに美しい藍色が浮かび上がりました。作業をすすめる際、液体で目や肌を傷めないようにみなさんゴーグルや手袋をして、物々しいながらユーモラスな姿で作業に熱中していました。



両方の体験を終わって、一同に集まりパンとジュースでお昼にしました。今回の研修の運営にあたった能勢高校 PTA 生活厚生委員の皆さんが司会を務め、各校 PTA の自己紹介

や大じゃんけん大会等をして楽しみ、最後に全員で記念写真を撮って終了となりました。

あいにくの雨のため農場全体をご案内できなかったことが残念ですが、「農場を、保・幼・小・中・地域の交流の場に」のコンセプトのもと、能勢高校農場に実際に来ていただき、その魅力の一端に触れることは達成できたのではないのでしょうか。

今後も農場を活用した様々なプログラムを用意し多くの方に訪れていただくことで、能勢高校の教育成果や取り組みを広く地域に発信していきたいと思えます。

教頭 坂口茂